

今回の話題 子どもたちに「実感」をともなった活用を!!



8月、令和5年度の「全国学力・学習状況調査」の調査結果が報告されました。ICT推進班では毎年「児童質問紙」、「生徒質問紙」、「学校質問紙」の調査結果に注目しています。

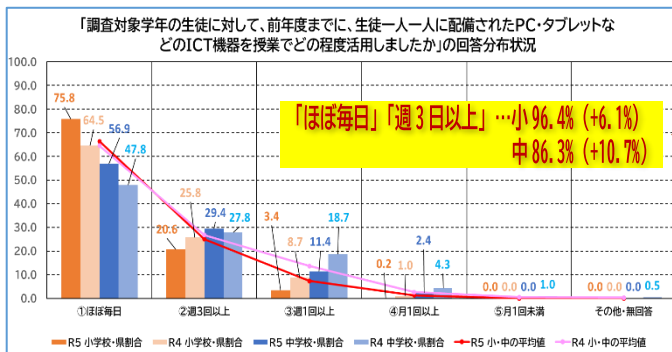
昨年度の結果からは、ICTを活用した授業づくりについて、先生方のマインドセットが少しずつ変わってきたことや、『学ぶこと』を子どもたちに任せることにチャレンジしてみませんか?ということをお伝えしたところでしたが、今年の結果はどうだったのでしょうか。

分析の視点や結果をどう見るかは人それぞれかもしれませんが、一つの考え・可能性として、参考にしたり、たたき台にしたりしていただくと幸いです。

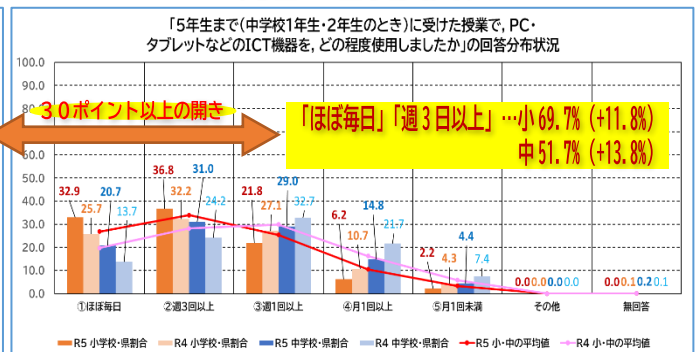
報告書のダウンロードはこちらをクリック⇒<https://www.nier.go.jp/kaiatsu/zenkokugakuryoku.html>

トピックス① 使用頻度も上がり、子どもたちの「実感」は高まってきているけれど・・・

学校質問紙



児童・生徒質問紙



授業における使用頻度について、学校質問紙と児童・生徒質問紙の結果をグラフにしてみました。

昨年度の数値も入れてみると、学校質問紙でも児童・生徒質問紙でも、両校種ともに使用頻度が昨年度よりかなり高くなっていることがわかります。

しかも、子どもたちの「ほぼ毎日」と「週3日以上」を合わせた割合を昨年度と比べると、小学校で+11.8%、中学校で+13.8%と、子どもたちの「授業でICTを使っている『実感』」は高まってきていることがわかります。とは言い、学校(教師)と子どもの、「授業でICTを使っている」認識には、両校種ともに30%前後の違いが見られます。

なぜ、学校(教師)ほどに子どもたちは使っている「実感」を感じていないのでしょうか?

トピックス② ヒントは「子ども自身が操作して学びを深めるのに活用しているか。」

質問内容	ほぼ毎日(R5)小・中平均
調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか	66.4

30ポイント以上の開き ↑

調査対象学年の児童(生徒)が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	31.4
調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	24.8
教職員と調査対象学年の児童(生徒)がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	31.9
調査対象学年の児童(生徒)同士がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	20.5

右の表からも分かるように、毎日使っている割合に対して、児童生徒に使用させているかという質問については、30ポイント以上の差が見られます。

つまり、ICT機器を授業で使用しているのは先生の方が多く、子どもたちに十分に使用させるまでに至っていない状況がまだ見られるということだと思います。

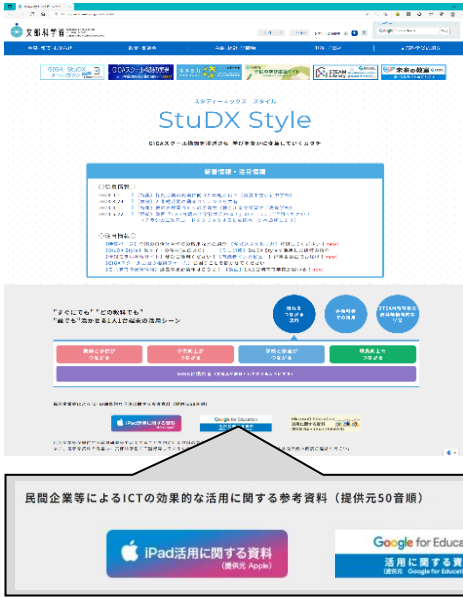
現在、私たちに求められているのは、子どもたちの「情報活用能力」の育成です。技能や知識も、良さや欠点も、成功や失敗も、良さや難しさも含めて、「実感」を伴って学び取っていくことが

必要と考えます。そのためには、子どもたちが自らICTを操作して考えたり、まとめたり、表現したりするといった実際の体験や経験が欠かせません。

子どもたち自身に活用させる頻度を高めていく方策を、今後さらにみんなで考えていきましょう。

トピックス③ イメージをみんなで共有しよう!!

全国の事例から学ぼう!!



では、子どもたち自身に活用させた授業ってどんなものなのでしょう。現時点では、手探り状態というところも多いのではないかと思います。そのような学校や先生方の不安に応えるため、文部科学省や県では、積極的な情報提供に努めています。

文部科学省では、「StuDX Style」というWebサイトを作り、教科ごとや場面ごとの全国の優良実践事例などを公開しています。

ここでは、GIGA端末の推奨3OSの提供している特設ページなどもあり、その中では授業や実践の動画資料も提供されています。

研修の時間にあれこれ協議することも有意義ですが、同じ動画をみんなで視聴して、実践イメージを共有するのも有効かと思います。

<https://www.mext.go.jp/studxstyle/>



この中に、動画資料も含まれています。サイト内のこのボタンをクリックしてみてください。



県内のみんなで共に高め合おう!!

県教委では先生同士が情報交換したり、相談し合ったりするためのMicrosoft Teamsを使ったプラットフォームを準備していますが、先日、登録者数1,000人を超えました。

現在、授業づくり等に使えるプチ情報を掲載した週一情報提供企画「KagoGIGA BU (Brush Up)」を発信中です。

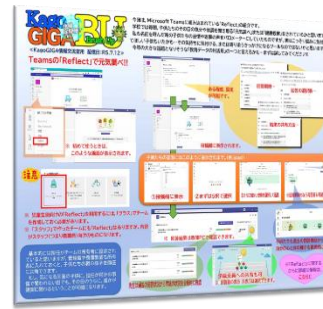
子どもたちに活用させるための情報も含めて、様々な情報をこれからも発信していきますので、まだ未登録の方は是非登録をお願いします。



登録者数 1000人超え!! (R5.8月末現在)

教員相互の情報交換、各種研修会等の開催、アプリ等の活用事例などを発信中!!

目標登録者数 本年度中に1,200人超え!!



現在、週一情報提供企画、発信中!!

「KagoGIGA BU (Brush Up)」

- (これまでの提供内容) ※R5.8月末現在
- 第1弾 Google Keep で業務のマネージング
 - 第2弾 文字起こし機能(Microsoft Word, Googleドキュメント)
 - 第3弾 テキストマイニングで意見を集約・分析①
 - 第4弾 テキストマイニングで意見を集約・分析②
 - 第5弾 Teams の「Reflect」で元気調べ!!
 - 第6弾 協働的な作業環境へのヒント①
 - ※ Microsoft Wordの修正履歴表示機能, Googleドキュメントの提案機能
 - 第7弾 「Googleサイト」を使ってみた!!
 - 第8弾 メタバースの世界をプチ体験してみませんか?
 - 第9弾 「NHK for Shool」は魅力的なコンテンツ満載!!①
 - 第10弾 「NHK for Shool」は魅力的なコンテンツ満載!!②

登録方法は、[こちらをクリック](#)



まずは小さくても1歩を踏み出そう!!

また、県教委では学校におけるICT活用の更なる充実を図るため、ICT活用に対して県内の教職員が、翌日からでもすぐ実践してみようと考えられるような比較的容易と思われる実践事例等を募集し、県全体に共有する取組もしています。

【募集対象】県内の公立学校の全教職員及び教育行政職員

【内容】教育活動(授業や特別活動, 家庭学習等), 校務, 研修等, 学校内外を問わず(地域での活用も含む)教育の情報化を進める上で、知っているとお得な活用方法

- ※例
- ① 1歩目を踏み出しやすくなる。(準備が簡単)
 - ② 誰でもできる。(操作が簡単)
 - ③ 簡単なのに効果が高い。(子どもたちの意欲を高めることができるなど)
 - ④ 持続可能である。(担当でなくても引き継げる)
 - ⑤ 負担が少ない, 軽減できる(時間面・精神面・金銭面, 様々な視点で)
 - ⑥ 標準の機能だけで知っていれば校務で得をする小ネタ
 - ⑦ 授業の中で活用できる簡単な活用術 など

※第2回(下半期分)募集も間近!!

◎ 募集期限や応募の仕方については、学校に届くチラシ, または「KagoGIGA 情報交流室」の投稿(予定)をご覧ください。

第1回分(上半期版)公表間近!!